

発 言 通 告 書

令和 8 年 2 月 26 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 梶 原 時 義

次のとおり通告します。

発言順位	1 1	受領日時	2 月 26 日	午前・午後	11 時 55 分	2 枚中	1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			一括方式	発言時間	約 30 分	
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長		・選挙管理委員会委員長 ・監査委員		・公平委員会委員長 ・公営企業管理者		

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	進まない再開発事業等について	JR 松山駅周辺もしかり、銀天街 L 字地区、一番町一丁目などの再開発事業等が何も進んでいない状態にある。本市の対応を情けなく思う。 ①松山駅周辺地区車両基地跡地に整備する施設、②JR 松山駅周辺整備、③一番町一丁目・歩行町一丁目地区の再開発及び④銀天街 L 字地区の再開発のそれぞれについて、計画当初の整備予定時期と遅延の現状、完成の見込みと時期並びに遅延の理由と今後の展望を示せ。
2	瀬戸内・松山構想の具現化に向け高浜から松山観光港までの電車延伸を行うべきではないか。	県都松山の陸、海、空の玄関口から市内へのアクセスを伊予鉄道系列が独占していることには違和感があるが、瀬戸内からの海の玄関である松山観光港は、あと 800 メートルのところまで電車が届いていない。広島からのインバウンドの取り込みを含め、瀬戸内・松山構想の具現化のためには、松山観光港旅客ターミナル 2 階に電車の乗り入れを行い、早急に利便性を図るべきだと考えるが、その考えはあるか。 また、電車延伸の展望について、ルートや総事業費を含め市長の所見を求める。
3	湯山公民館と湯山支所を一つの施設に複合化し整備する湯山地区複合施設整備事業について	土砂災害特別警戒区域に位置する湯山公民館と湯山支所の移転整備は湯山地区住民の悲願であり、やっとなことという思いはあるが歓迎したい。移転整備のスケジュールと供用開始時期を問う。 また、公民館には図書室に加え、自習室などを含めた、市民の新しい居場所として多くの世代が生活の場、集いの場、学びの場として利用できる施設にしていくべきだと思うがどうか。
4	本市公共施設に自習スペースを確保することについて	(1)12 月議会における私の「本市の施設において、学生を含め学びたい人が自由に使える空間を確保するべきではないか」という質問に対し、「既存施設の有効活用などにより、さらなるスペースの確保に努め

